

自分たちから始めて、広げる。 まずは気軽な声かけから。



この冊子「世田谷UDスタイル第1号」を作成するために、世田谷区ではユニバーサルデザインワークショップを開催しました。そこに参加した区民の方々がワークショップを振り返りながら冊子の編集について話し合いました。

お買い物体験 第1回

お買い物物の練習の現場についていろいろながりが分かって良かったです。順番を守ることや、お金を理解することが難しい子どもたちも、安心して買物ができるまちにしていきたいと感じました。

お店の対応としても、たとえば同じ50円のコインを見せて「これと同じ」とか、「10円5枚だよ」など、わかりやすく説明することが大切ですね。

嫌がる子どももいる、急に近寄りすぎると怖がる子どももいると言っていたね。

保護者が「地域の人が関わってくれてうれしい」とおっしゃっていたのが印象的でした。地域へ理解を広げていくことが大切です。

アー&マーケット 第2回

当日は雨で大変だったけど、楽しいイベントだったね。高架下が上手に使われていて、雨でもみんな元気だった。

子どもだけでなく、大人も楽しそうでした。

普段からまちの中に安心して立ち止まっていられる場所があるといいよね。

イベント全体として子どもを見守ってくれる雰囲気があるので、親も安心して楽しめました。

ワークショップ参加者と考える ～世田谷UDスタイルって何だろう～

日常生活や働く場で ユニバーサルデザインが すべての基盤になる

バス乗車体験 第3回

実際にバスに乗って体験したの
で、乗り降りの様
子が良く分かりま
した。

バスの中で車
イスユーザーとベ
ーカーは同じ場
所を使うけど、ど
ちらが優先という
ことはなく、お客
さん同士のゆずり
あいが大切だとい
う説明が印象に
残っています。

バスの後の方に座っていると、前が
どんな状況になっているかわからな
いんだよね。「車イスのお客さまが乗降中
です」といったアナウンスがありがたい
ね。

運転手さん、乗客のお互いの声掛けが
大切だということも改めて分かりました。

UDスタイルについて

今まで「こう」っていう切り口で区民にUD
のことを伝えることはなかったよね。生
活の中のイベント、視点の紹介ということ
ですよね。

今回は、子どもや子育て中の人の
視点から考えるということでしたが、
子どもは「多様性」の象徴ですね。

少子化で、昔より子育て中の人が
減ってきている。そんな状況下で地域
の課題がみえてきたわけだけど、子ど
もの声があるまちってパワーが出てく
る、生活感があるまちですね。

子どもたちの声があるといいとか、
ちよつと邪魔にならなくていいのがあつ
て、残念ですね。

そんな中で、「応援しているよ」と
いう姿勢を見せること。そのため
の基本はやっぱり「声かけ」ですね。

「お手伝いしますよ」ということ
思わず「大丈夫です」と言ってしまう、

という話があつて、興味深かったです。
お手伝いする方も、される方もあまり
慣れていないということですね。

「ベーカーの前を持ちましよう
か？」など、具体的に言つと良いとい
う話もありました。

気軽に声かけやお手伝いをし合
える雰囲気広がるといいですね。人
がお手伝いしている様子を見ること
で「こつすればいいんだな」と見ている人
も学んで、広がっていく。自分たちから
始めていくことが大切ですね。

ユニバーサルデザインが、すべての
基盤にあるような世田谷をみんなであつ
ていきたいと思います。

コラム 「子育てタクシー」 知ってますか？

▼「子育てタクシー」とは乳幼児を連れた外出
のサポート、保育園や学童保育所、塾などに
保護者の代行としてのお迎え、陣痛時のス
ムーズな送迎など、「いざという時の保険」
として登録・ご利用いただける、子育て世
代に優しいタクシーです。

▼一般社団法人全国子育てタクシー協会主
催の「子育てタクシードライバー養成講座
課程」を修了したドライバーが専門に乗務し
ています。(同協会のHPより)

子育てタクシー

コラム 山下商店街の点字 メニューと指さしボード

▼山下商店街振興組
合では、UDの視点で商
店街づくりをしようと、
点字メニューや指さし
ボードを設置するお店
を増やす活動に取り組
んでいます。



山下商店街振興組合